

月に一度の交流の広場「建築家フォーラム」

古谷誠章
NOBUAKI FURUYA

難しいテーマをやさしく やさしいことを深く 深いことを面白く

「建築家フォーラム」の前身である「建築家倶楽部」時代から、長年代表幹事を務められた近江栄先生から、ある日電話をいただきました。電話の内容は先生に代わってお前が代表幹事を引き継げというもので大変驚きましたが、世代交代だから若い方が良いと言われて、お引き受けしたのが2004年の暮れのことです。以来、今川憲英、川向正人、国広ジョージ、手塚貴晴の幹事諸氏、阪田誠造、可児才介の両監督役とともに、この会の企画運営を行ってきました。

原則として毎月1回第3火曜日の夜、建

築に関連する幅広い分野から旬のゲストをお招きし、進行役の幹事や会場とのトークを通じて、時の話題に花を咲かせようというものです。また会場である「INAX：GINZA」に展示スペースが生まれたのを機に、フォーラムの講演に合わせたゲストによる1週間の展示会も同時開催しています。初回には菅順二さんによる「竹中工務店東京本店新社屋」を題材としたドローイングや模型などの充実した展示、続いて黒川紀章さんの作品を題材に東京理科大学川向研究室の学生が製作した展示会など、フォーラムの魅力

を多角化する試みを続けてきました。2007年末には菊竹清訓建築設計事務所で草創期以来ほとんどの代表作の図面を描かれた遠藤勝勲さんによる実施図面の原図が展示され、「国立京都国際会館」のコンペ案を始め、門外不出の実物の迫力に、じかに接する貴重な機会となりました。2008年に入ってから去る3月に台湾で進行中の伊東豊雄さんの3大プロジェクトの展示、更に5月には同じく伊東豊雄建築設計事務所の東建男さんの解説による「多摩美術大学図書館（八王子キャンパス）」の実地見学会を開催して、多くの参加者に実際の建築空間を楽しんでいただきました。

これまでに招きしたゲストには、以上の他にも内藤廣、山本理顕、小島一浩、青木淳、北川原温、仙田満、香山壽夫、大野秀敏、竹山聖、新居千秋といったそうそうたる建築家諸氏を始め、藤本壮介、松岡恭子、曾我部昌史、今村創平、塚本由晴など人気の若手建築家、更には藤森照信、陣内秀信両氏など実に多彩な顔ぶれが並んでいます。今後も引き続き2月と8月を除く年10回のフォーラムを企画し、年に2回程度は実物を訪ねる見学会を計画していく予定です。

フォーラムの中心となる講演会は、毎回多くの来場者に恵まれ、その中にはいすれ劣らぬ著名な建築家も見受けられ、その方々とゲストとのやり取りも毎回の大きな楽しみとなっています。講演の後にはゲストを交えての懇親会もあり、フォーラムメンバー同士の交流の場ともなっています。*

詳細は、建築家フォーラムホームページ (<http://www.chousadan.jp/kentikuka-club/>) をご覧ください。

ふるや・のぶあき—建築家・早稲田大学 教授 / 1955年生まれ。1978年、早稲田大学卒業。1980年、同大学院博士前期課程修了。1986年から1年間、文化庁芸術家在外研修員としてスイス、マリオ・ボッタ事務所にて在籍。近畿大学助教授を経て、1994年、早稲田大学助教授、NASCA設立。1997年から現職。

主な作品：アンパンマンミュージアム（1996）、詩とメルヘン絵本館（1998）、早稲田大学津井八一記念博物館（1998）、ZIG HOUSE / ZAG HOUSE（2001）、近藤内科病院（2002）、神流町中里合同庁舎（2003）、茅野市民館（2005）など。



第67回 展示会「図面に描き込まれた空間—遠藤勝勲の鉛筆」展示協力：菊竹清訓建築設計事務所、早稲田大学 古谷研究室 2007年12月13日～22日 18日には遠藤勝勲氏・東建男氏（伊東豊雄建築設計事務所）をゲストに講演会も開催



第68回 講演会「建築のビヘイビオロロジー」の塚本由晴氏と、企画・司会の手塚貴晴氏 2008年1月15日



左—第69回 展示会「生成する秩序 展示会『台湾3大プロジェクト』台中メトロポリタン・オペラハウス / 2009 ワールドゲームズメインスタジアム / 台湾大学新社会科学部棟」展示構成：東京理科大学 川向研究室、展示協力：伊東豊雄建築設計事務所 2008年3月10日～19日
右—同対談「現代建築のゆくえ」の伊東豊雄氏、対談相手・企画は川向正人氏 3月18日



第71回 見学会「建築の中を漂うように歩く / 伊東豊雄・多摩美術大学図書館の見学」案内は設計の担当者である東建男氏、進行は筆者 2008年5月17日



第72回 展示会「新居千秋展 不均質な不均質」展示協力：新居千秋都市建築設計、武蔵工業大学 新居研究室 2008年6月9日～17日 16日には新居千秋氏をゲストに講演会「ローカリティを表現する建築」も開催、進行は今川憲英氏